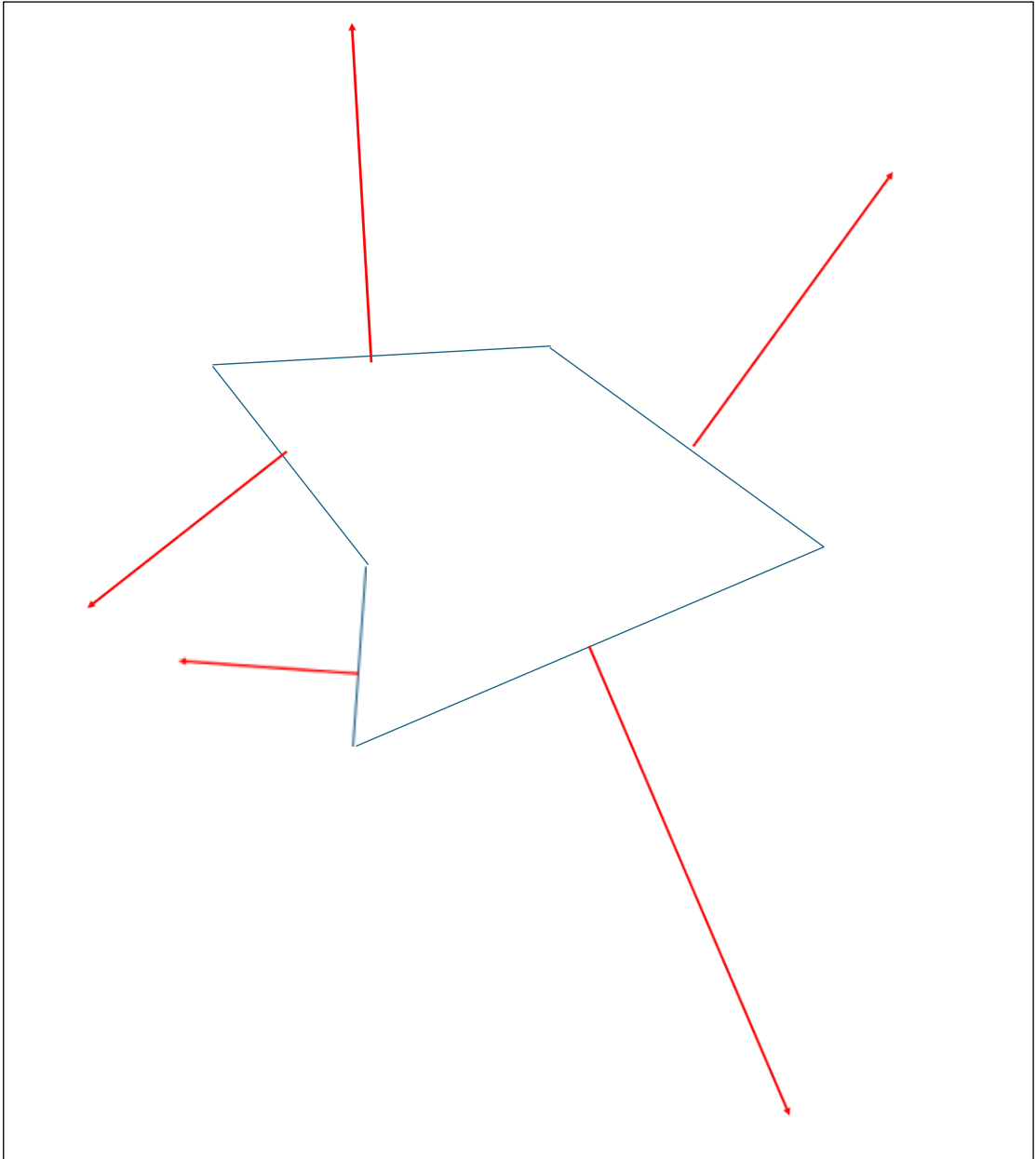


Ⅱ 任意の多角形において「長さ法ベクトル*」の和は $\vec{0}$ になる

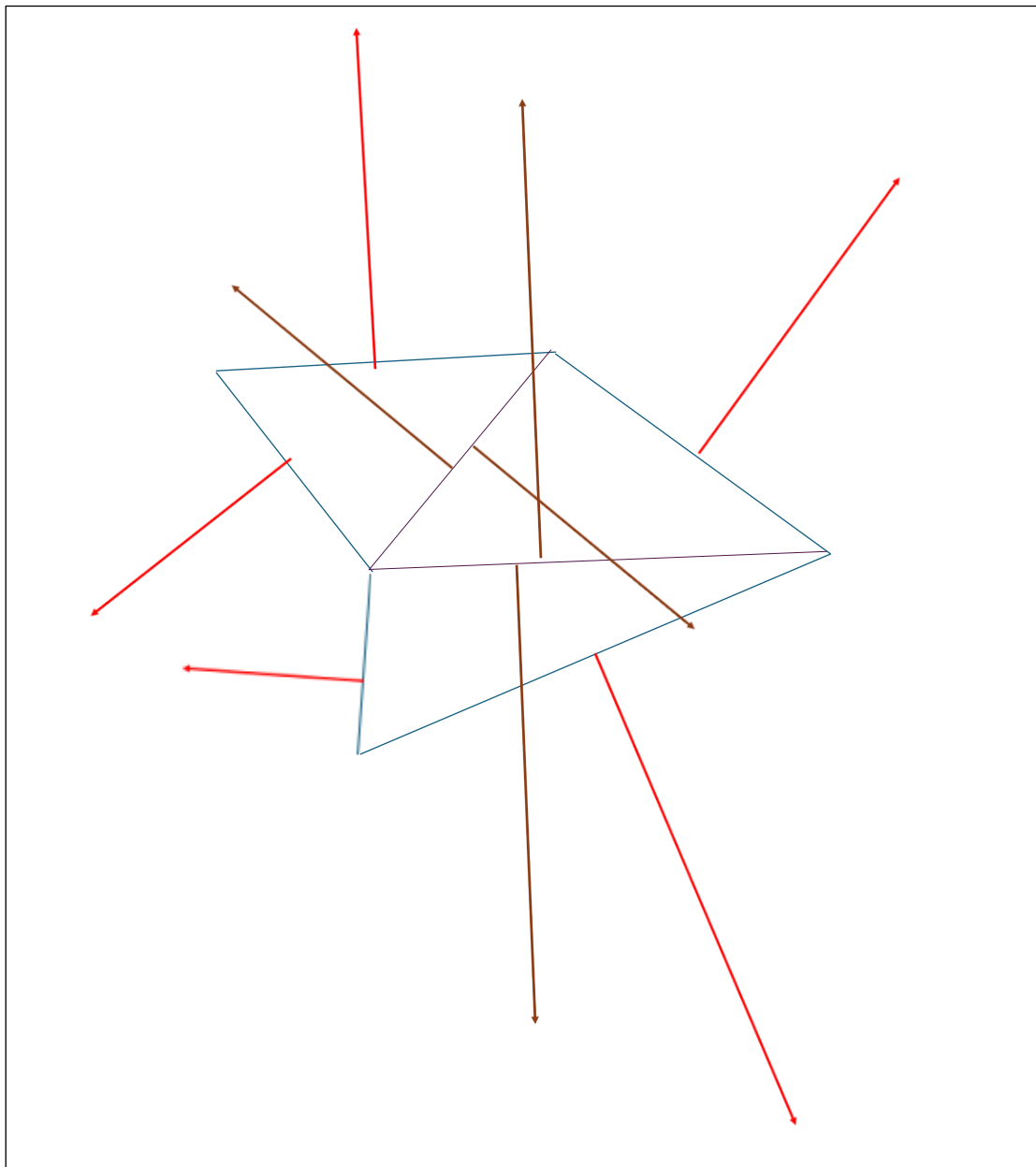
(*正式名称不明のため、造語)

1 任意の多角形において、「長さ法ベクトル」の和は $\vec{0}$ になる。



証明

任意の多角形は三角形の集合体に分割でき、それぞれの三角形での「長さ法ベクトル」の和は前述のように、 $\vec{0}$ になっている。互いに触れ合っている、辺の部分では、二つのベクトルの和は打ち消しあい $\vec{0}$ になることを考えると、元の多角形の「長さ法ベクトル」の和は $\vec{0}$ である。



これより任意の多角形において、「長さ法ベクトル」の和は $\vec{0}$ であることが分かる。■